

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 <b>維持管理</b> 環境 コスト ICT 品質 <span style="color: red;">（該当分類に○を付記）</span>		
技術名称	紫外線硬化型FRPシート ソーラー	担当部署	
NETIS登録番号		担当者	立花隆志
社名等	ティー・アイ・トレーディング株	電話番号	03-5763-8177
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>紫外線硬化型FRPシート ソーラーパッチは、英国で1990年代はじめに開発された、ガラス繊維に樹脂を含浸させたシートです。元々は、石油・ガスパイプラインの腐食防止、プラント配管の断熱材の保護、保温材下の腐食防止用に開発されましたが、優れた防錆特性、耐候性、耐摩耗性、耐衝撃性、防火性により、現在ではインフラの補修や保護、プラントの維持管理にも使用されております。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>紫外線硬化型FRPシート ソーラーパッチは、ガラス繊維に樹脂を含浸させたFRPシート。</p> <p>工事の流れは次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ケレン : 2種ケレンを推奨しております。</li> <li>表面清掃 : アセトン等でケレンかす、水分、油分の除去します。</li> <li>プライマー塗布 : 安定した接着のためにプライマーの仕様を推奨しております。</li> <li>パテで不陸調整 : 必要に応じてパテで不陸調整します。</li> <li>紫外線硬化型FRPシート ソーラーパッチを必要な大きさに切る : 補修部の大きさに合わせてソーラーパッチを切ります。あらかじめ当社にてサイズを合わせたものを納入することもできます。</li> </ol> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物の長寿命化</li> <li>・FRPライニングの現場作業の大幅な簡素化</li> </ul> <p>防錆能力、耐候性、耐衝撃性に優れる。 現場でハンドレイアップ工法のような材料調合を必要としないため、施工が容易。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>金属、コンクリート、プラスチック、木材の表面保護。 具体的には、橋梁、配管、タンク、支柱等の保護。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 自治体 5 件（九州 0件、九州以外 5件） 民間 27 件（九州 0件、九州以外 27件）</p>		

6. 写真・図・表



図1: 商品



図2 事例: 歩道橋の補修



図3 事例: 配管の腐食対策



図4 事例: パイプラインの保護



図5 事例: タンクの腐食対策



図6 事例: 紫外線ライト照射